

日時 令和6年12月8日(日)

13:00～15:30(開場12:30～)

参加申込締切 12月3日(火)

参加  
無料

会場 愛媛大学  
グリーンホール  
(城北キャンパス内)



会場定員 150人(先着順)

※定員になり次第、  
受付を終了させていただきます。

開催方法：会場及びオンラインによる併用開催

共催：愛媛大学地域協働推進機構 俳句・書文化研究センター  
松山坊っちゃん会

後援：愛媛県、愛媛県教育委員会、松山市、松山市教育委員会  
愛媛CATV、愛媛新聞社

## プログラム

【開会挨拶】 杉森 正敏 (愛媛大学 理事・副学長／地域協働推進機構長)

【報告1】 小助川元太

(愛媛大学俳句・書文化研究センター長／教育学部教授)

「虚子と松山の能について」

【報告2】 佐藤 栄作 (松山坊っちゃん会会長・愛媛大学名誉教授)

「文章家虚子が残したもの」

【報告3】 小西 昭夫氏 (俳人・『子規新報』編集長)

「虚子俳句と時間」

【報告4】 青木 亮人

(愛媛大学俳句・書文化研究センター／教育学部教授)

「虚子の選句眼と世間に対するまなざしについて」

【トークセッション】 パネリスト：小助川元太、佐藤 栄作  
小西 昭夫氏、青木 亮人

【閉会挨拶】 小助川元太

司会：清田 朗裕 (愛媛大学俳句・書文化研究センター／教育学部講師)

# 高浜虚子と 近代俳句、松山

高浜虚子生誕150年記念シンポジウム



高浜虚子

(松山市立子規記念博物館 所蔵)

参加申込み方法は裏面



虚子像（松山市北条地区）



句碑「遠山に日の当りたる枯野哉」（松山市東雲神社）



句碑「戻り来て瀬戸の夏海絵の如し」（今治市糸山公園）

## 開催趣旨

本年は高浜虚子生誕150年に当たります。虚子やその師、正岡子規の生誕の地である松山は、現在でも市民が幼少の頃から創作や鑑賞を通して日常的に俳句に親しんでいる都市であり、俳句甲子園が開催される「俳句の聖地」です。虚子生誕の地で、俳都松山にある愛媛大学の俳句・書文化研究センターでは、地域の研究団体である松山坊っちゃん会の協力を得て、虚子生誕150年の記念シンポジウムを開催することになりました。今回は近現代俳句研究者である青木亮人教授、俳人で『子規新報』の編集長である小西昭夫氏、日本語学者で松山坊っちゃん会の佐藤栄作会長が登壇し、虚子の作品とその影響、虚子の事蹟、虚子を取り巻く松山の文化など、多方面から議論をしていきます。

参加については以下からお申込みください。

■参加申込みフォーム：URL <https://forms.office.com/r/EDqXMdZTwA>

■参加申込み・お問い合わせ 愛媛大学地域協働支援部地域協働課

メール：bunkeicj@stu.ehime-u.ac.jp

TEL：089-927-8963 ※月～金（祝日を除く）9：00～17：00



\*いただいた個人情報は、本シンポジウムに関する連絡のみに使用させていただきます。

\*大学構内には駐車スペースはございません。近隣の有料駐車場をご利用いただくか、公共交通機関をご利用ください。

\*オンラインの場合は、パソコン、スマートフォン、タブレットでの参加が可能です。（※Wi-Fi環境を推奨）

\*本シンポジウムの様子は、愛媛CATV、Youtube愛媛大学公式チャンネル等で、後日映像公開する場合があります。予めご了承ください。